

職能科通信 43号

2019年 6月 発

職能科通信

検索

〒243-0121
 神奈川県厚木市七沢 516
 神奈川リハビリテーション病院
 職能科
 TEL&FAX 046-249-2571

新年度を迎えて

神奈川県総合リハビリテーションセンターの再整備計画もいよいよ最終段階に入り、本年夏にはグランドオープンを控えております。

職能科は、神奈川リハビリテーション病院に組織され、病院職員として8名（うち作業療法士2名）、さらに七沢自立支援ホーム（障害者支援施設）の施設配置基準外で1名、計9名の職業指導員で職業リハビリテーションサービスを提供させていただいております。（写真1）



写真1 職能科職員

支援については、担当医からの訓練指示書（処方）により、職能評価を踏まえ、目標別に「就労支援部門」「社会参加支援部門」にて支援をさせていただいております。サービスの質の向上に向けた研鑽を行ってまいりますので、今後とも、ご指導とご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。（松元 健）

2018年度の支援のまとめ

2018年度は担当医からの訓練指示書（処方）569件を受け支援を行いました。所属別内訳は、入院54%、外来42%、七沢自立支援ホーム4%でした。実人数477人の障がい別内訳では、外傷性脳損傷・脳血管障がい・脳疾患など脳損傷の方が74%、脊髄障がい・その他（難病など）の方は26%でした。（図1）また、就職・復職をされた方は56名でした。（表1）（松元 健）

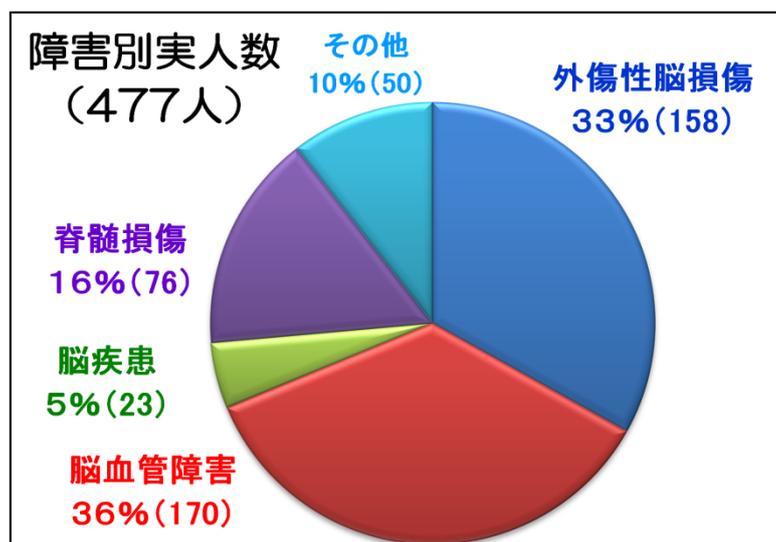


図1 2018年度 障がい別内訳

就労形態	人数	外傷性脳損傷	脳血管障害	脊髄障害
新規就労	12名	4	5	3
		8	20	3
		4	4	4
復職	39名	2	3	0
		3	3	0
		2	3	0
自営	5名	2	3	0
合計		56名		

表1 2018年度 就労者数

【就労支援】

昨年度から職能科に作業療法士が 1 名配置されたことは、すでにご報告いたしました。今年度から更に 1 名が増え、作業療法士 2 名、職業指導員 3 名の体制で支援を行っております。これまでの就労支援のノウハウに、OT ならではの視点（作業環境の調整や生活状況のチェック、身体状況のチェック等々）も加わり、更に充実した支援を提供できるのではと考えています。

また、今年度はグループ訓練にも力を入れていこうと思っております。これまで継続して行ってきた模擬職場を見直し、失語症の就労に関するグループや必要に応じてテーマを取り入れるなどグループ訓練の充実にも力を入れ、より良い支援が提供できるように努力してまいります。

（今野 政美）



【社会参加支援】

職能科では、退院後の目標として、地域生活への復帰を目指す皆様に、入院期間中は利用者様の状況に合わせて個々にコーディネートした訓練プログラムをご提案・ご提供させて頂き、外来訓練に於いても、利用の頻度や訓練内容をご相談させて頂き、徐々に自立度が高められるように支援しております。

しかし、地域生活を組み立てるに当たり、個別に相談・訓練を積み重ねるだけでは、実感が持てず、自己理解に結び付きにくい側面がありました。

そんな中で、当事者同士の共感や情報の共有等を通し、より実感を持ちながら考えられるプログラムの必要性を感じ、今春より「社会参加グループ」という名称で、グループワーク訓練を導入しました。

職能科内の名称も、「自立支援部門」から「社会参加支援部門」へと、社会参加に向けた準備をするプログラムを意図した名称に変更し、平成から令和に切り替わった今年度、新たな再スタートを切ることができました。

今後も、より良いリハビリにつながるように、利用者様のニーズに合わせて、より良い支援を提供してまいります。（山本 和夫）

【新職員の紹介】

- 山崎 修一「学園からの異動です。地域移行後の活動に役立つ作業課題を提供します。」
- 露木 拓将「作業療法士としてより良い支援が提供できるように挑戦していきます。」
- 受託評価担当 佐藤 京子さん（5月～10月）よろしくお願いします。